

北海道浮魚ニュース

平成 21(2009)年度 16 号 (通巻 No.287)

2009 年 9 月 17 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道西日本海スルメイカ調査結果

中央水産試験場試験調査船おやしお丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・ 今回の調査海域は前年度よりも南部海域での調査を行いました。
- ・ 調査期間 : 2009 年 9 月 9 日 ~ 9 月 15 日
- ・ 調査船 : おやしお丸 (イカ釣機 6 台、イカ釣り用集魚灯 22 灯装備)

CPUE は 3~7、外套長のモードは 23cm

(モード : 最も多く漁獲されたイカの大きさ)

スルメイカの分布密度
スルメイカの分布密度を CPUE (自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 3~7 と全点で低い値でした。全点の平均 CPUE は 5 と調査点は違いますが、前年 (7) よりも低くなっていました。

調査点別に CPUE を見ると、奥尻島北部が 3 で一番低く、その沖合が 7 と一番高くなっていました。岩内湾沖が 4、積丹半島先端沖も 4 でした。

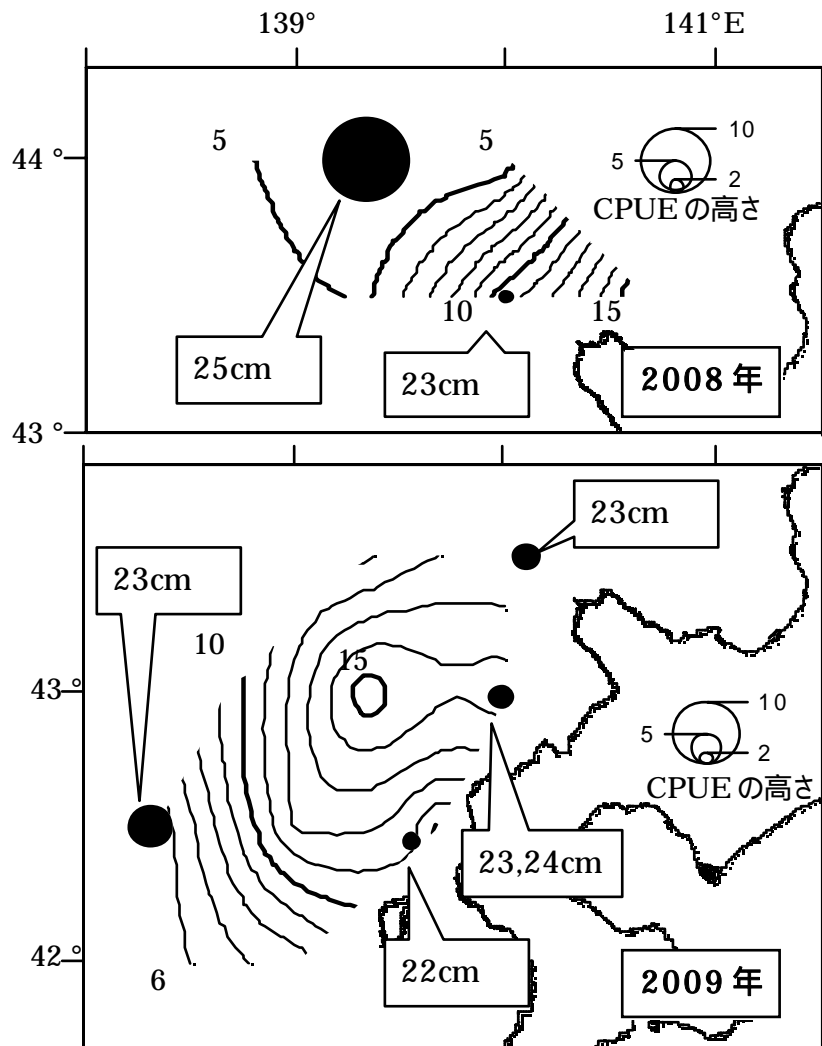


図1 スルメイカの分布密度()と外套長組成のモードおよび50m深水温分布

スルメイカの大きさ

スルメイカの大きさは、海域全体では外套長(胴長)が18~31cm(前年:19~32cm)の範囲にありました(図2)。外套長(胴長)組成のモードは、奥尻島北部が22cm、沖合で23cm、岩内湾沖で23-24cm、積丹半島先端沖で23cmでした(図1)。

調査海域全体のモードは、23cmで前年(25cm)より小さい傾向が見られました(図2)。

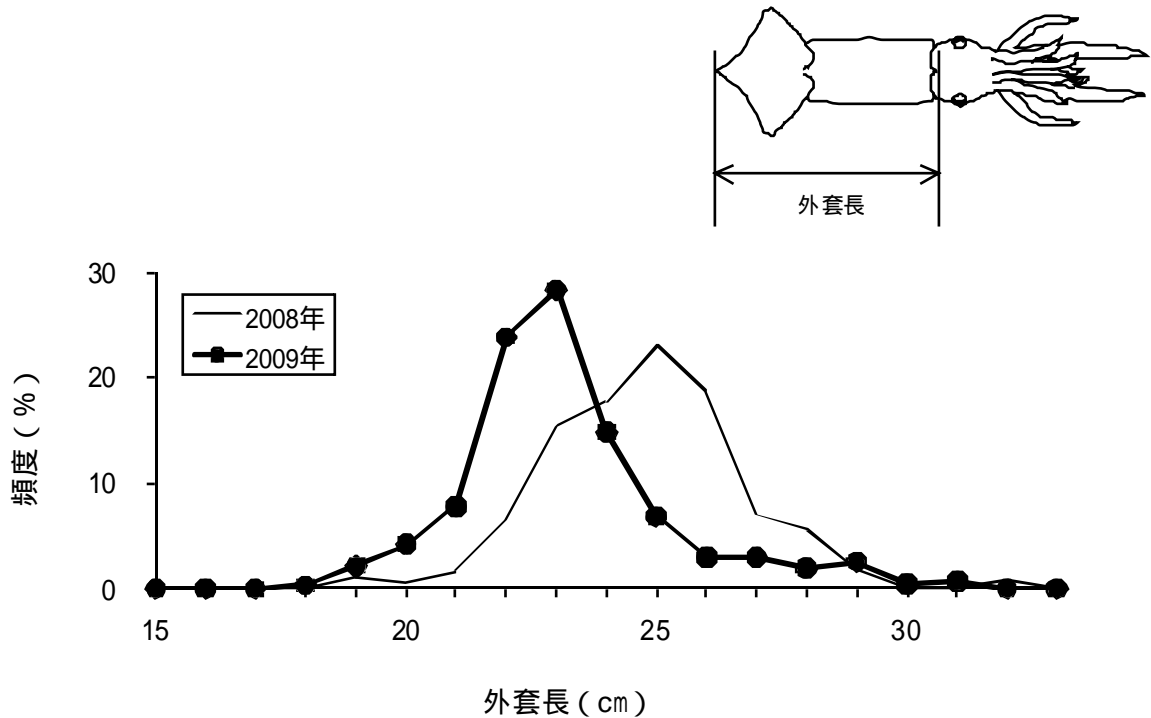


図2 スルメイカの外套長組成図

水温分布

調査海域の表面水温は、19.9~21.0 (前年:19.8~24.5) でした(図1)。50m深水温は、5.1~15.6 (前年:4.1~16.4) でした。50m深水温分布で見ると積丹半島南に、7月下旬~8月上旬の海況速報でも見られた、暖水渦がありました。

(文責: 中央水産試験場資源管理部, TEL:0135-23-8707, FAX:0135-23-8709)